

2020 夏のセミナーのご案内書

答えがないと不安ですか？

新型コロナウイルス感染拡大による外出自粛要請が長く続き、生活がガラリと変わりました。日常の「当たり前」は当たり前でなくなり、世の中は突然変わってしまうことを思い知らされたのです。この先子どもたちが生きていく未来も、この様に大きく変わってしまうことが考えられます。では、未来の変化に対処する能力を育てるには何が大切なのでしょう。

あらかじめ答えが用意されていて正解を求める問題に慣らされてしまうと、何が正解なのか分からない未知の場合は身動きが取れなくなるそうです。サッカーの試合中、突然ゴールが見えなくなる事を想像してください。どうしますか。もちろん正解はありません。どんな状況になっても、想像力のスイッチを入れて多面に考え、正解を作る能力を身につけておくことが何より大切です。これからの世の中、自分に何ができるのかを考え、自分なりの正解をつくり出していける人材が求められるのです。（正解のない問題は、複数の正解があるからということではなく、解答者自身が作った正解をその妥当性や信憑性によって評価されるからです。）

実施要項

日 程／前期 7月18日～8月9日 後期 8月19日～31日

開催時間／午前 10時30分から11時50分（80分）

午後 12時30分から13時50分（80分）

（年少児は午後の50分）少人数制で実施

対象年齢／年少児から中学生まで（レゴは年中児から）

費用／4,400円（内税） 在籍児 4,000円（内税）

日によっては午後2時以降のクラスがある場合があります。

午前午後を通して受講する場合、お弁当等持たせてください。

ギルフォード

セミナーコース案内

学習能力コース

国語領域と算数領域の課題

「学習能力」とは、学習に必要な能力のことで、論理的思考力や推察力、分析力、読解力、表現力、コミュニケーション力などがこれにあたります。これらの能力が高いと集中して効率よく勉強に取り組みます。ですから、このコースは、学習に関する知識を吸収したり問題を解く場合に働く「知能」に注目してカリキュラムが組まれました。一つ心配なこととして「学習能力」が高い子＝勉強大好きの子と思われがちです。しかし、そうではありません。「学習能力」が高くなる子は、幼い頃から読書や工作などの「知的作業」が身近なものだったのです。ですから、その内容を勉強に移しても抵抗なく取り組めた結果なのです。「学習能力」とは、後天的な素質のようなものですから、幼少期から楽しんで問題に取り組める「きっかけ」を上手に作る事が大切です。いきなり難しい事をやりすぎて、自信を失くしてしまったりは気の毒すぎます。知的興味をもたせ、最大限に思考力を発揮させる「学習能力」コースは、年少児から小学生まで、それぞれの学齢に対応して課題が編成されています。

創造性を刺激する

プレイフルプロジェクト

みんなが知っているレゴブロックやレゴのロボットを使ってエンジニアリングの基礎を学びます。夏休みの自由研究の素材として取り組まれても楽しいかと思います。初めての参加で不安な場合は、お子さんの興味の方向などを伺って対応します。作品などは持ち帰りませんが、終了後に写真をとっていただくことは可能です。

・・・・・・・・・・・・・・・・

年中児/お客さんに乗せる楽しい乗り物を作ろう。

年長児/歯車の仕組みを考えて、さかなつりの道具を作ろう。

小学1年生/カエルロボット作り（プログラミング入門）

小学2・3年生/生き物の動きを真似たロボットを作ろう。

小学4年生/クルマの安全とセンサー、自動運行とプログラミング。

高学年以上は経験値に対応した課題を実施します。